

強酸性土壌用植生基材マット

# ニュートラルマット®

適用土質	砂質土	粘質土	礫質土	岩塊・玉石
	●	●	●	

強酸性土壌用／pH3.0以上

強い酸性土壌の現場でも  
確実に緑化が可能な  
専用植生マットです！

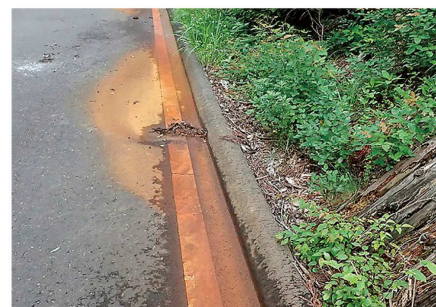


## 強酸性土壌(pH3.0以上)の緑化が可能！

大型の土壌改良袋の中に酸性土壌中和剤・植物生育促進剤・生育基材等を充填し、さらに肥料袋を装着した植生基材マットで、強酸性土壌でも長期にわたり安定した緑化が可能です。

## 安定した植生基盤！

植生基材袋と肥料袋により等高線の小段を形成するので、のり面表層の微粒土壌や植生基材の移動・流失を防止し、安定した植生基盤を築きます。



強酸性土壌に含まれる鉄分が溶脱し、赤褐色に染まった路面状況

## 標準規格

製品名	製品規格				ネット			1袋入数
	幅	長さ	土壌改良袋間隔	肥料袋間隔	素材	形状	色	
ニュートラルマット	1m	5m	10cm	50cm	ポリエチレン	2重編ネット	ディープグリーン	5m <sup>2</sup>

(注) ブラワッシャーは含んでいません。

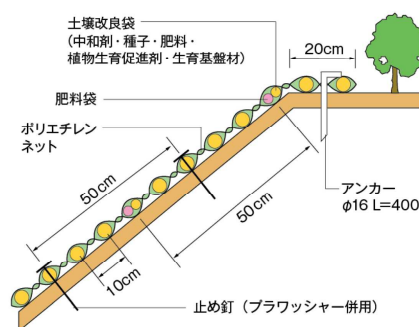
## 施工手順

- のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- のり肩部を20cm程度巻き込み、のり面へ密着するように展開する。
- 左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とする。
- マットは土壌改良袋を等高線状に展開する。
- 所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所に取り込み密着させる。
- 止め釘は土壌改良袋の中心に取り込み密着させる。

注1) 降雨・強風時の施工は避けてください。

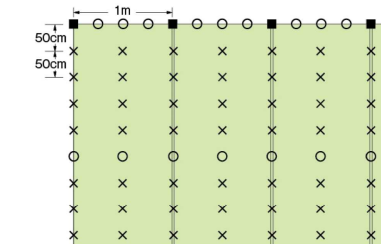
- 日陰で風通しのよい乾燥した場所に保管してください。

## 標準断面図



## 標準打設図

- =アンカー (φ16 L=400)  
○=アンカー (φ9 L=200)  
×=止め釘 (ブラワッシャー併用) L=150



100m <sup>2</sup> 当たりの本数 (10×10m)	
■ φ16×400mm	11本
○ φ9×200mm	114本
× 150mm	376本

アンカー・止め釘規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。